

イチゴ生産へ情熱 語る

J A研修の3人 知事に修了報告



育てたイチゴを古田肇知事(中央)に贈った修了者ら＝県庁

J A全農岐阜が運営するいちご新規就農者研修所(岐阜市曾我屋)の14期生として、イチゴの生産や農業経営について学んだ修了

生3人が県庁を訪れ、古田肇知事に研修成果を報告した。訪問したのは田中利昌さん(49)＝岐阜市、大矢的充

さん(45)＝美濃市、高野博幸さん(45)＝可児市。昨年4月から今月まで14カ月間の研修を受けた。

3人は「農家として最後まで責任を持って仕事をしたい」「地域に密着した農家になりたい」などと今後の抱負を語り、自ら育てた「美濃娘」を贈った。古田知事は「研修所のようなチャンスがあり、チャレンジできるのはいい。頑張っている」と激励した。

研修所は2007年度にJ A全農岐阜が設置し、翌年度から運営を始めた。今年を含めこれまで53人の研修生が受講し、全員が県内で就農している。

(根尾文悟)